

コラム  
たじの多事総論

第十回  
三月十一日に思いをさせて

三月十一日、私はこの日を忘れることはないでしょう。

あの時私は農林水産省の職員として、東京で寝食も忘れるほど多忙な日々を過ごしていました。月曜から木曜まですべて午前まで働いていて、ようやく平日最後の金曜日。この日を楽しみ切れば休日が待っている、それがあの日でした。

しかも翌日の土曜日(三月十二日)は大学時代の友人たちと東京ディズニーランドに行く約束をしていました。「どうせ今日も午前まで働くんだろうな」と思っていたので、泊まり覚悟で職場に私服とカメラまで持っていており、昼休憩にはのんきにカメラで遊んだりしていました。

そして十四時四十六分 地震発生。東京でも震度五強。立つていたらないほどの揺れで、廊下に出ていた私は壁にしがみついて、揺れが収まるのを待っていました。

揺れが収まった後は、広島の実家に「地震あったけど無事です」と連絡をし、NHKを見つつ、被害の状況を確認していました。

会議に出ている先輩職員が、地震に驚いて机の下にもぐったらネズミ捕りにかかったと、靴にネズミ捕りの紙を貼り付けたまま席に戻ってきた時は、課内のみんなが笑いました。

しかし、TVの中で、津波が来て、街をのみ込み出す映像が流れだすと、一気に課内の雰囲気は凍り付きます。聞いたことのないサイレンが省内中に響き渡りました。非常事態をつげるサイレンです。その後のことはあまり覚えていません。目が回るほどの忙しさで仕事をしていたと思います。でもその忙しい間に、廊下で「両親と連絡がつかない」と泣いている東北出身の同僚、職員にも死者が出たらしいとパニックで報告に回る人事の職員、地下鉄やJRが止まり、省内の会議室にあふれかえった帰宅難民。彼らを見ていると、まさに「日常が崩れた」ということを実感しました。そしてそれは、いつでも、どこでも、だれにでも起こりえることだと感じたのです。

人生は一度しかない。

明日死んでも後悔しないか。自分にウソのない生き方をしているか。お世話になった人にきちんと感謝の気持ちを持って伝えるか。「三・一一」以降、それをとても意識するようになりました。と、言いながら両親にあまり感謝を伝えられていないかもしれないと今気づきました。近いうちに両親と一緒に食事に行こうかな。

2019年4月からの農家担当職員体制のご案内

広酪では、生乳出荷組合員からの相談等の窓口として、職員による農家担当制を設けて業務執行にあたっております。

2019年4月からの農家担当職員の体制は、以下のとおりとなりますので、よろしくお願ひします。

地域名	市町名	酪農家戸数(戸)	主担当職員名( )内は受持戸数	飼養管理指導担当職員名
備北	三次市布野町	1	加藤祐一 (4戸)	竹ノ内寛治
	三次市作木町	3		
	三次市三良坂町	1	和田千順 (9戸)	
	三次市吉舎町	1		
	三次市和知町	1		
	三次市廻神町	1		
	三次市三和町	5		
	庄原市口和町	2	櫻木茂夫 (12戸)	藏崎哲治
	庄原市高野町	3		
	庄原市西城町	3	名越道弘 (14戸)	
	庄原市東城町	4		
	庄原市小用町	3		
	庄原市峰田町	3		
	庄原市大久保町	1		
	庄原市一木町	2		
庄原市七塚町	3			
庄原市山内町	1			
庄原市木戸町	1			
南部	呉市	1	河野洋一 (11戸)	竹ノ内寛治
東広島市	10			

地域名	市町名	酪農家戸数(戸)	主担当職員名( )内は受持戸数	飼養管理指導担当職員名
西部	安芸高田市高宮町	9	盛崎伸治 (松尾雅也) (15戸)	竹ノ内寛治
	安芸高田市美土里町	3		
	安芸高田市甲田町	3		
	山県郡北広島町千代田	4	加藤祐一 (11戸)	
	山県郡北広島町大朝	4		
	山県郡北広島町芸北	3		
	山県郡北広島町豊平	7	寺道弘生 (11戸)	
	広島市安佐南区	2		
	広島市安佐北区	1		
	広島市佐伯区	1		
東部	三原市	3	櫻木茂夫(3戸)	
	世羅郡世羅町	6	上 富士 (10戸)	
	庄原市総領町	1		
	神石郡神石高原町	3		
	三次市甲奴町	6	松尾雅也 (盛崎伸治) (15戸)	
	府中市	9		
福山市	6	竹ノ内寛治 (6戸)		

(酪農家戸数の合計は121戸)